

授業科目名	保育原理(2100604)		
時間割名	保育原理(51102)		
時間割担当	森本宮仁子		
実施期	後期	単位数	2
曜日・時限	金・1		

授業の目標・概要

保育の理念や概念、保育の目的など保育の意義について理解を深めるとともに、保育所保育の特性について、養護と教育の一体性や環境の重要性など、保育所保育指針をもとに学ぶ。また、諸外国の保育の思想と歴史に触れ、日本の保育制度についても理解を深める。そのうえで保育の現状と課題について考察を深める。

学習の到達目標

- 1・保育の理念や概念、保育の目的など保育の意義について理解する。
- 2・保育所保育指針に示された保育の基本について理解を深める。
- 3・保育の内容と方法について学びを深める。
- 4・保育の思想や歴史など、保育に関する知識を習得する。
- 5・保育の現状と課題について考察する。

授業方法・形式

講義を中心にしながらも、保育所における保育の場面など、写真や資料を通して身近に実感できるよう工夫する。また、保育課程の作成など保育の計画についても、モデル作成するなどして、保育について体得できるよう準備する。

授業計画

- 第1回 保育の意味
- 第2回 子ども観・保育観
- 第3回 子どもの発達
- 第4回 発達の特性と保育
- 第5回 保育内容の変遷
- 第6回 保育の内容・生活と遊び
- 第7回 保育の内容・保育者の援助
- 第8回 保育の方法の実際
- 第9回 保育の計画
- 第10回 保育の評価と記録
- 第11回 保育の思想と歴史（諸外国）
- 第12回 保育の思想と歴史（日本）
- 第13回 日本の保育制度の現状と課題
- 第14回 保育者の専門性
- 第15回 まとめ・現代的課題と展望

成績評価の基準

定期試験50パーセント、授業内に出された課題と授業への参加態度で50パーセントとし、総合的に評価する。

授業時間外の課題

絵本や手遊び、歌などの保育内容を様々に収集しておくこと。

メッセージ

講義が中心となりますが、保育所での子どもたちの様子や保育士の働きなどをお伝えしながら、わかりやすい授業を心がけたいと思っています。保育の基本となる科目ですので、しっかりと授業を受けてくださることを期待しています。

教材・教科書

柏原栄子・渡辺のゆり 編著「新 現代保育原理」 建帛社 (2009)
(2016年 3月ごろ 改訂版 出版予定)

参考書

「保育所保育指針」厚生労働省